

使徒継承

七十人の一人、聖トロピモから現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教*

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.‡

諸国民への主教、使徒的委任のもとに

1. 聖トロピモ、七十人の一人 CO

紀元30年頃、七十人の一人としてキリストに遣わされた（ルカ伝福音書10:1）

聖書に名が記されている：「エペソ人トロピモ」、聖パウロの同行者（使徒行伝20:4、21:29、テモテへの後の書4:20）

同教会の伝承によれば、アルルの初代主教

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒トロピモから今日にまで及び、2026年現在で1,996年にわたる。

聖パウロの同行者である聖トロピモは、正教会によって七十人の一人である使徒として崇敬されている。正教会は4月15日に使徒アリスタルコおよびプデスとともに彼の祝日を守り、また1月4日に共に記念される七十使徒の中に彼を数えている。アルルの教会は、聖トロピモをローマから遣わされた創設者かつ初代主教とする。これは教皇聖ゾシムスが紀元417年に記したとおりであり、同教会は彼を聖パウロの弟子として崇敬している。ローマ・カトリック教会は12月29日にアルルの聖トロピモの祝日を守っている。

彼の後半生については、諸教会の伝承が異なっている。正教会の伝承は、聖パウロのこの同行者がネロのもとでローマにおいて命をささげたと記録しているが、アルルの教会は彼を同教会の創立主教としている。またトゥールの聖グレゴリウスは紀元590年頃、トロピモのアルルへの宣教を3世紀に置いた。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

アルル

ガリアのアルル主教座。聖トロピモによって創設された。その後を継いだDionysiusからVirgiliusに至るアルルの主教たち。聖アウグスティヌスは、イングランド宣教のための主教聖別をこの主教座から受けた。

2. Dionysius 80
3. Regulus 85
4. Felicissimus 100
5. Gratus 120
6. Ambrosius 145
7. Martinus 170
8. Ingenuus 180
9. Augustinus 200
10. Hieronymus 220
11. Savitius 230
12. Marcianus 240
13. Victor 250
14. Marinus 270
15. Martinus II 270

16. Nicasius 330
17. Valentinus 342
18. Saturninus 354
19. Crescentius 365
20. Concordius 380
21. Constantinus 392
22. Heros 410
23. Patroclus 422
24. 聖 Honoratus CO 426
25. 聖 Hilarius CO 438
26. Ravennius 449
27. Leontius 463
28. Aeonius 493
29. 聖 Caesarius CO 502
30. Auxanius 542
31. 聖 Aurelianus CO 546
32. Sapaudus 556
33. Licerius 586
34. 聖 Virgilius CO 588

カンタベリー

カンタベリーの主教座。教皇聖グレゴリウス1世（大グレゴリウス）が597年に、イングランドの人々に福音をもたらすために遣わした聖アウグスティヌスが創設した。

35. カンタベリーの聖アウグスティヌス CO 597
36. 聖 Laurence CO 604
37. 聖 Mellitus CO 619
38. 聖 Justus CO 624
39. 聖 Honorius CO 627
40. 聖 Deusdedit CO 655
41. タルソの聖 Theodore CO 668
42. 聖 Brihtwald CO 693
43. 聖 Tatwine CO 731
44. 聖 Nothelm CO 735
45. Cuthbert 740
46. 聖 Bregowine CO 759
47. Jaenberht 766
48. Æthelhard 793
49. Wulfred 805
50. Feologild 832
51. Ceolnoth 833
52. Æthelred 870
53. Plegmund 890
54. 聖 Athelm CO 914
55. Wulfhelm 923
56. 聖 Oda CO 942
57. 聖 Dunstan CO 960
58. Æthelgar 988
59. Sigeric 990
60. Ælfric 995
61. 聖 Ælfheah CO 殉教者 1006
62. Lyfing 1013
63. Æthelnoth 1020
64. Eadsige 1038
65. ジュミエージュの Robert 1051

66. Stigand 1052
67. Lanfranc 1070
68. 聖 Anselm [C] 1093
69. Ralph d'Escures 1114
70. William de Corbeil 1123
71. ベックの Theobald 1139
72. 聖 Thomas Becket [C] 殉教者 1162
73. ドーヴァーの Richard 1174
74. フォードの Baldwin 1185
75. Reginald Fitz Jocelin 1191
76. Hubert Walter 1193
77. Stephen Langton 1207
78. Richard le Grant 1229
79. 聖 Edmund Rich [C] 1234
80. サヴォイアの福者 Boniface [C] 1245
81. Robert Kilwardby 1273
82. John Peckham 1279
83. Robert Winchelsey 1294
84. Walter Reynolds 1313
85. Simon Mepham 1328
86. John Stratford 1333
87. Thomas Bradwardine 1349
88. Simon Islip 1349
89. Simon Langham 1366
90. William Whittlesey 1368
91. Simon Sudbury 1375
92. William Courtenay 1381
93. Thomas Arundel 1396
94. Henry Chichele 1414
95. John Stafford 1443
96. John Kemp 1452
97. Thomas Bourchier 1454
98. John Morton 1486
99. Henry Deane 1501
100. William Warham 1503
101. Thomas Cranmer 1533

イングランド国教会

宗教改革以後のイングランド国教会の主教たち。各人はその前に記された主教によって聖別された。

102. John Scory 1551
103. Matthew Parker 1559
104. Edmund Grindal 1559
105. John Whitgift 1577
106. Richard Bancroft 1597
107. George Abbot 1609
108. George Montaigne 1617
109. William Laud 1621
110. Brian Duppa 1638
111. Gilbert Sheldon 1660
112. Henry Compton 1674
113. William Sancroft 1678
114. Jonathan Trelawny 1685
115. John Potter 1715
116. Thomas Herring 1738
117. Frederick Cornwallis 1750

118. John Moore 1775

アメリカ合衆国

1787年にランベス宮殿において合衆国の教会のために聖別された William White から、今日までこの継承を受け継いできた主教たちまで。

119. William White 1787

120. Benjamin Treadwell Onderdonk 1830

121. Samuel Allen McCoskry 1836

122. William Edward McLaren 1875

123. William Montgomery Brown 1898

124. Wallace David de Ortega Maxey 1927

125. Nils Bertil Alexander Persson 1986

126. Samuel Guido, Jr. 2004

127.

Garland F. Byers, Jr.

2013

カンタベリー大主教と共有する継承

現在のカンタベリー大主教Sarah Mullallyとバイヤーズ主教とは、聖トロピモからThomas Herring（1738年主教聖別、1747–1757年カンタベリー大主教）に至るまで、同じ使徒継承の系譜を共有している。Herring大主教は、両系譜がそれぞれ由来する主教たちを自らの手で聖別した。Mullally大主教の系譜においては1748年にRobert Hay Drummondを、バイヤーズ主教の系譜においては1750年にFrederick Cornwallisを聖別したのである。

聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマートンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日は

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。

ペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、主教についてのページに掲載されている。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：ウィキソース。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「……」で示しています。

聖トロピモ、ロマネスク様式の彫刻、12世紀、アルルのサン＝トロフィーム教会回廊。写真：SiefkinDR、出典：Wikimedia Commons、 撮影者によりパブリックドメインとして公開。原画からトリミングおよびサイズ変更を施した。